

「大学生のためのお金の教室～就職活動では四季報を活用しよう！」

ファイナンシャルプランナー 江尻正幸

12月になりました。就職活動がいよいよ本格的にスタートします。

一方、説明会から面接までの期間が短いため、興味を抱いた企業を分析する時間が取れないと感じる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

このような状況の中、「四季報を使って企業分析をすると良い」というアドバイスを学校の就職課から受けるかもしれません。しかし、その読み方まで教えられることはなかなかありません。

そこで今回は、四季報からどのように情報を読み取ればよいか、お伝えいたします。

【質問】

いろいろな合同説明会に出席していますが、ただ話を聞いているだけで

企業分析が全くできていません。

四季報を使うよう、学校からは言われているのですが、数字がたくさんあって

どのように活用すればよいか分かりません。

財務の知識が全く無い学生でもできる分析方法を教えてください。

(小島さん 就職活動中の大学3年生 志望業界なし)

【回答】

四季報には、企業に関する以下のような情報が掲載されています。

《主な記載情報》	《主な内容》
特色	事業内容、取扱商品
コメント	収支状況、今後の事業展開
株価指標	実績・予想PER、株価推移
業績	売上高・純利益などの実績・予想
財務・株主	総資産・資本金・大口株主

これらの情報を、どのように就職活動に生かしていけばよいのでしょうか？

まずは、以下の3点をチェックしましょう。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

(1) 「特色」を読む

まずは、社名のすぐ隣に記載されている「特色」欄に目を通しましょう。
ここには、どのような事業を行っているかが簡潔にまとめられているので、すぐに読み終えることができます。

小島さんのイメージとは異なる事業を展開していることもあるでしょう。ここで、正しい企業像をつかみましょう。

(2) 「売上高・営業利益・経常利益・純利益」の推移を確認する

四季報には、これらの実績・予想額が掲載されています。
すべての数字が、同じようなペースで每期推移しているかを確認します。
そして、どこかの期末時点で、特定科目のみ数字が大きく動いていたならば、理由を調べてみるとよいでしょう。
保有資産の売却など、そのときに何が起きたのかを発見できるかもしれません。

このように数字を追っていくと、特別損益などに惑わされることなく、業況の良し悪しやその原因を判断できます。

(3) 「株価」は上昇基調か

株価には、その企業に対する世界中からの評価が織り込まれています。
この数字が上昇基調、つまり右肩上がりならば、高い評価を得ているといえます。

2012年4集の四季報には、2009年からの株価推移が掲載されていますので、まずはこの期間の値動きを見てみましょう。
また、株主構成欄に目を向け、誰がこの企業の株を多く保有しているのかを確認すると、さらに深い考察が可能となります。

上記の分析方法には、特別な知識は不要です。
説明会やOB・OG訪問だけでなく、四季報を通して企業分析を行い、実態をつかみましよう。